

家族や様々な職種の“**気付き**”がとても大事です!



歯みがきが
できない



口が
乾燥する

カラカラ



食べ物が
噛みにくい

こんな症状は
ありませんか?

気になることは
ありませんか?

口臭が
気になる



私たち
歯と口腔の専門職種に
ご相談ください。



よくむせる

薬や食べ物が
飲み込みにくい



- 食べにくくなることで低栄養状態やフレイル(加齢により筋力や活力が低下し虚弱になる状態)を招き、**介護度が悪化する危険**があります。また、免疫力が低下し感染症にかかりやすくなります。
- 飲み込む力が低下すると誤嚥を繰り返し、**命にもかかわる誤嚥性肺炎**を引き起こします。

まずはかかりつけ歯科医に
ご相談ください

本人の状態をよくわかっている
「かかりつけ歯科医」に連絡し、
状況を説明して指示を受けてください。

一般社団法人
愛知県歯科医師会

<http://www.aichi8020.net>

かかりつけがない、わからない場合など
ホームページ上の
「訪問歯科診療案内」を
ご覧ください。

公益社団法人
愛知県歯科衛生士会

<http://aichi-shika.com/>

口の機能を高めるための
体操などのリーフレットを
掲載しています。

私たち歯科医師・歯科衛生士は
「**口から食べる**」を支援します。



- 🦷 ご自宅や施設で療養されている方と
家族の皆様へ
- 🦷 在宅医療・介護に携わる皆様へ

歯科医師・歯科衛生士は、地域の皆様が、住み慣れた場所で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、在宅医療・介護の様々な職種と連携しながら、「口から食べる」ことをサポートする歯と口腔の専門職種です。



健康福祉部保健医療局健康対策課



監修



公益社団法人
愛知県歯科衛生士会

歯科衛生士は、歯科医師の指示を受けて、 ご自宅・施設・病院へ訪問し、専門的口腔ケアを行います。

医療保険制度や介護保険制度の中で、全身の健康状態や介護の状況を確認しながら、誤嚥性肺炎のリスクを軽減するための支援を行います。

歯と口腔の総合的な 健康管理を行う

家族や介護職による日常の歯口清掃では難しい歯肉や粘膜の汚れ、口臭の原因となる舌の汚れを取り除きます。また、家族や介護職に技術指導します。



食べる・飲み込む機能を 高める訓練を行う

舌、頬や飲み込みに関わる筋肉を刺激し、口から安全に食べられるよう支援します。食事の姿勢、食事の形態なども確認し介護者に説明します。

口の機能を高める体操（例）



口を大きく開けて、舌を出したり引っ込めたりします。

歯科医師に連絡し 歯科治療につなげる

義歯の調整をはじめとした歯科治療や、飲み込みの詳しい検査が必要な場合は、歯科医師に依頼します。



多職種連携で支援する

訪問看護師や
ケアマネジャーなど
在宅医療・介護の
様々な職種と
連絡を取り合い
「口から食べる」を
サポートします。

☑ 歯科衛生士がご自宅へ訪問しました。

86歳 男性 / 多発性脳こうそく / 要介護3(歩行自立) / 独居

近くに住む家族から「よくむせる、食事が1時間以上かかるようになった。」と相談があり、担当ケアマネジャーとの調整の下、訪問歯科診療を開始しました。

義歯の状態は良好で食物を噛むことへの支障はありませんでしたが、歯科衛生士が飲み



込みの簡易検査を行ったところ、喉頭(のどぼとけ)の動きがやや弱く、食物がのどに残留することが疑われました(写真)。

そこで、歯科医師による診断に基づき、食物とロミ付きのお茶を交互に摂取してもらうように助言し、歯科衛生士による専門的口腔ケアを継続することになりました。

これらの経過をケアマネジャーへ報告し、訪問看護師やヘルパーが関わる食事場面でも注意してもらうよう情報を共有しました。また、理学療法士による訪問リハビリでは、飲み込む力を維持するための訓練が追加されました。

その後、むせることなく食事時間も短くなり、1日3食しっかり食べるできています。

☺ 事例のように多職種が協力して支援することで… ☺

- 安全においしく「口から食べる」ため、職種の専門性を活かしたアドバイスができます。
- 様々な職種の気付きから歯科へつながることが増え、地域の在宅医療介護の質の向上に貢献できます。

歯科衛生士の支援を希望される方は、

かかりつけ歯科医にご相談ください。